

# 県内の学校から煙害追放



全国に先駆けて全公立小中学校の敷地内で全面禁煙に踏み切った和歌山県に続けと、静岡県内でも全学校の完全禁煙化を目指す研究会が二十日、発足する。

## 敷地内の完全禁煙化へ

### 静大ら 20日に研究会発足

発起人は未成年の喫煙率が下げる方法論を研究、活動している静岡大教育学部の赤田信一助教授。「煙害を受ける子供のためにも、もう国の規制は待ってられない」とサポート体制の実現に意欲を燃やす。

赤田助教授が研究会設立の参考にしたのは和歌山県の対策。平成十二年三月、国が提示した健康対策指針「健康日本21」を受け、今年四月、公立学校五百十四校で「学校敷地内禁煙」を断行した。当時の県の担当者は「反対の声も多少ありましたが、思った以上にスムーズにいきました」と振り返る。

県内でも浜松市立船越小が今年一月、たばこの害を学ぶ薬学講座をきっかけに校内全面禁煙を導入した。同校の池谷あつ子教頭は「反対の声もなく、PTAも子供の健康を第一に考えて、全面的に賛同してくれました」と推奨する。

赤田助教授は「受動喫煙の害を被る児童、生徒のためにも県内全域に広げることは可能はず。公立の学校から実施して